「し」で始まる語彙辞典（マイナー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「し」で始まる語彙辞典（マイナー） 4

おわりに 16

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「し」で始まる語彙辞典（マイナー）

し - おん【私恩】
個人的に特別にその人に与える恩恵。「―を施す」

私恩（しおん）を売・る
自分の地位を利用して、自分の利益になりそうな人に恩を与える。

し - き【志気】
物事をなそうとする意気込み。こころざし。「―盛んである」

しき - ざき【四季咲き】
季節を限らず、何回でも花が咲くこと。また、その植物。「―のバラ」

し - きょう【至境】
到達することのできる最高の境地。「芸道の―をきわめる」

し - げい【至芸】
きわめつくした最高の芸。芸の極致。「名人上手の―」

し - し【孜孜】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
熱心に努め励むさま。「―として研究を続ける」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

し - しょう【師承】
［名］（スル）
弟子が師から教えを受け伝えること。師伝。「武道の奥義を―する」

し - しょく【試植】
［名］（スル）
新品種の植物などを、試験的に植えてみること。「稲の新種を―する」

し - しん【詩心】
感じた事柄を詩に作りたいという気持ち。「―がわく」

沈（しず）む瀬あれば浮かぶ瀬あり
長い人生のうちには悪いときもあればよいときもある。悪いことばかりが続くものではないというたとえ。

し - ぜつ【死絶】
［名］（スル）
① 息が絶えて死ぬこと。「最後まで病と戦ってついに―した」
② 家族全員が死んで、その家系が絶えること。

し - そう【詩想】
① 詩を生み出すもとになるような感情・思考。「―に富む人」「―がわく」
② 詩に歌われている思想・感情。「清新な―がみなぎる作品」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しっ - し【嫉視】
［名］（スル）
ねたみ憎む気持ちで見ること。「同僚を―する」「―反目」

しっ - せい【叱声】
しかる声。また、しかる言葉。「―が飛ぶ」

しっ - せい【失政】
政治のやり方を誤ること。また、間違った政治。「―を重ねる」

しっ - そく【疾速】
［名・形動］
行動などが非常に速いこと。また、そのさま。「確実かつ―に対応する」

しのび - あり・く【忍び歩く】
［動カ四］
（貴人などが）他人に知られないように、こっそりと出歩く。

篠（しの）を突・く
篠竹を突き立てるように雨の勢いが強く激しいさまにいう語。しのつく。「―・く大雨」

死馬（しば）の骨（ほね）
かつてはずばぬけていたが、今は価値のなくなってしまったもののたとえ。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

し - ひつ【紙筆】
紙と筆。筆紙。「―に尽くせない」

し - ふう【士風】
武士、または軍人としての考え方や行動。「剛健な―」

し - ふう【師風】
師の学風や芸風。「―を継ぐ」

し - べん【至便】
［名・形動］
この上なく便利なこと。また、そのさま。「通勤に―な土地」

しゃ - し【奢侈】
［名・形動］
度を過ぎてぜいたくなこと。身分不相応に金を費やすこと。また、そのさま。「―に流れる」「―な生活」

しゅう - こう【舟行】
［名］（スル）
① 舟が通行すること。「―が滞る」
② 舟に乗って行くこと。舟旅。また、舟遊び。

しゅうさん - ち【集散地】
生産地から産物を集めて、これを消費地へ送り出す所。「米の―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しゅう - しゅう【集輯】
［名］（スル）
いろいろ集めて編集すること。「民話を―する」

しゅう - じゅう【羞渋】
［名］（スル）
恥じらって、態度や口調がはきはきしないこと。

しゅう - ち【衆知】
多くの人々の知恵。衆人の知恵。「―を集める」

しゅう - ちん【袖珍】
そでに入るくらいに小型なもの。ポケット型のもの。「―版の単語集」

しゅう - ぼう【醜貌】
みにくい容貌。

しゅう - めい【醜名】
よくないうわさ。不名誉な評判。醜聞。「―を流す」

しゅう - ろく【集録】
［名］（スル）
集めて記録すること。また、その記録。「各地の伝説を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しゅく - てん【祝典】
祝いの儀式。「―をあげる」

しゅく - へい【宿弊】
古くから続いている弊害。年来の悪習。「―を一掃する」

しゅく - やく【縮約】
［名］（スル）
規模を小さくして簡約なものにすること。また、そのもの。「二〇巻の資料集を五巻に―する」「―版」

しゅ - ゆ【須臾】
短い時間。しばらくの間。ほんの少しの間。「―も忘れず」「―の命」

修羅（しゅら）を燃や・す
《阿修羅は嫉妬・執着の心が強いところから》
激しく嫉妬する。激しく恨み怒る。

しゅん - きょ【峻拒】
［名］（スル）
きっぱりと拒むこと。厳しい態度で断ること。「立候補の要請を―された」

しゅん - けつ【俊傑】
才知などが常人よりすぐれていること。また、その人。「一門の―」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しゅん - げん【峻厳】
［名・形動］
非常にきびしいこと。また、そのさま。「―な態度で臨む」

しゅん - しょう【峻峭】
［形動］［文］［ナリ］
山などが高くけわしいさま。「―な鋭峰」

しゅん - せつ【浚渫】
［名］（スル）
海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること。「運河を―する」「―工事」

しゅん - れつ【峻烈】
［名・形動］
非常に厳しく激しいこと。また、そのさま。「―な風土」「―な批判」

しょう - かん【消閑】
ひまをつぶすこと。退屈しのぎ。「読書を車中の―の具とする」

しょう - じ【聳峙】
［名］（スル）
山などが高くそびえたつこと。「―する峻峰」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しょう - じゅつ【詳述】
［名］（スル）
くわしく述べること。「事の経緯を―する」

しょう - じん【消尽】
［名］（スル）
すっかり使い果たすこと。「体力を―する」

しょう - じん【焼尽】
［名］（スル）
残らず焼けてしまうこと。焼けてなくなること。また、焼きつくすこと。「戦火で全市が―する」

しょう - そん【焼損】
［名］（スル）
焼けて壊れること。また、焼いて壊すこと。「戦災で市街地が―する」

しょう - のう【笑納】
［名］（スル）
人に贈り物をするとき、つまらない物ですが笑ってお納めくださいという気持ちを込めて用いる語。「別便にてお送りしました品、ご―ください」

しょう - は【消波】
海岸などに寄せる波の力を分散あるいは消失させること。「―堤」「―ブロック」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しょう‐ばつ【聳抜】
［名］（スル）
高くそびえ立つこと。聳秀（しょうしゅう）。「―する鋭峰」

しょうび‐の‐きゅう【焦眉の急】
危険がひどく迫っていること。状況が切迫していること。「―を告げる事態」

しょう‐ふだ【正札】
掛け値なしの値段を書いて商品につけた札。「―販売」

しょう‐ほう【詳報】
詳しい知らせ。詳しい報告。「―が待たれる」

しょう‐み【笑味】
［名］（スル）
食べ物を他人に贈るときなどに、粗末な品ですがお笑い草にひとつ召し上がって下さい、という謙遜の気持ちを込めていう語。「ご―ください」

しょう‐みつ【詳密】
［名・形動］
くわしく細かいこと。よく行き届いて、もれがないこと。また、そのさま。「―な経過報告」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しょう‐よう【従容】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
ゆったりと落ち着いているさま。危急の場合にも、慌てて騒いだり焦ったりしないさま。「―として死に就く」「―たる立ち居振る舞い」

しょう‐よう【賞用】
［名］（スル）
ほめながら使うこと。「時代物の腕時計を―する」

小利（しょうり）大損（だいそん）
わずかな利益を得ようとして、そのためにかえって大きな損を招くこと。

しょう‐りゃく【商略】
商売上の策略。商売の駆け引き。「―にたける」

しょう‐ろく【詳録】
［名］（スル）
くわしく記録すること。また、その記録。「会議の内容を―する」

しょう‐ろん【詳論】
［名］（スル）
くわしく論じること。また、その論。「多くの例証を挙げて―する」

しょ‐がく【諸学】
いろいろの分野の学問。「―に通暁する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しろがね - づくり【銀作り】
銀でつくったり装飾したりしたもの。「―の太刀」

しろ - やか【白やか】
［形動］［文］［ナリ］
いかにも白いさま。白くて美しいさま。

しん - い【深意】
深い考え。深い意味。「―を解する」

しんいん - ひょうびょう【神韻縹渺】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
芸術作品などに、きわめてすぐれた趣が感じられるさま。「―たる名文」

しん - かん【深閑】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
物音一つせず、静まりかえっているさま。「―とした寺の本堂」

しん - がい【震駭】
［名］（スル）
驚いて、ふるえあがること。「世間を―させた大事件」

しん - げん【森厳】
［形動］［文］［ナリ］
秩序整然としていて、おごそかなさま。「―な境内」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

しん - しゃ【深謝】
［名］（スル）
① 心から感謝すること。「御厚情を―する」
② 心からわびること。「不手際を―いたします」

しん - ぜん【森然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
樹木のこんもり茂っているさま。「―たるブナの森」

身代（しんだい）を棒に振・る
財産をむだに使い果たす。資産を失ってしまう。「習い事が高じて―・る」

しん - てい【新訂】
［名］（スル）
書物などの内容を新たに訂正すること。「辞典を―する」「―版」

心腹（しんぷく）の友
心を許し合った最も親しい友人。

しん - ぼう【深謀】
深く考えて立てたはかりごと。「―をめぐらす」「―遠慮」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.